

大賀 睦夫 教授年譜

1954年（昭和29年）

2月10日 福岡県筑後市に生まれる

1972年（昭和47年）

4月 九州大学法学部入学

1977年（昭和52年）

4月 九州大学大学院法学研究科修士課程政治学専攻入学

1979年（昭和54年）

4月 九州大学大学院法学研究科博士後期課程政治学専攻入学

1982年（昭和57年）

3月 同上単位習得退学

4月1日 九州大学助手法学部に採用

1984年（昭和59年）

4月1日 香川大学助手教育学部に転任

1985年（昭和60年）

4月1日 香川大学講師教育学部に昇任

1986年（昭和61年）

4月1日 香川大学助教授教育学部に昇任

1995年（平成7年）

4月1日 香川大学助教授経済学部に配置転換

1997年（平成9年）

6月1日 香川大学教授経済学部に昇任

2004年（平成16年）

4月1日 国立大学法人香川大学経済学部教授に任命

2012年（平成24年）

4月1日 経済学研究院教授に配置転換

2019年（平成31年）

3月31日 退職

大賀 睦夫 教授著作目録

I. 研究業績

1. 著書および論説

A. 著書

1. 学術書（共著・分担執筆）

- (1) 「熊本一区」 柚正夫編『日本の総選挙 1979-80』 果林房, 1982年8月, 154~162頁。
- (2) 「福岡3区」「選挙区類型別分析」 柚正夫編『日本の総選挙 1983年』 九州大学出版会, 1985年5月, 481~510頁及び553~560頁。
- (3) 「境界変更の波紋」 柚正夫編『日本の総選挙 1986年』 第2部選挙区の考察Ⅷ, 九州大学出版会, 1987年1月, 347~366頁。

2. 概説書（共著・分担執筆）

『スウェーデンボルグを読み解く』（高橋和夫他9名と共著）春風社, 2007年11月, 第12章, 20章, 21章, 23章, 25章, あとがき 計76頁執筆。

B. 論説

1. 「政治学における権力の概念」『政治研究』第27号, 1980年3月, 39~83頁。
2. 「山鹿市における松野頼三の地盤崩壊」『九大法学』第40号, 1980年3月, 117~133頁。
3. 「選挙運動の実態」『法政研究』第48巻, 1982年3月, 671~704頁（柚正夫との共著）。
4. 「アメリカ合衆国における議席再配分の政治過程」(1)~(4)『都市問題』第73巻第7号, 1982年7月, 94~109頁, 同第8号, 1982年8月, 75~95頁, 同第9号, 1982年9月, 72~85頁, 同第10号, 1982年10月, 88~108頁（査読あり）。
5. 「アメリカにおける議席再配分のインパクト」『同志社アメリカ研究』別冊10, 1986年3月, 97~120頁。
6. 「公正かつ効果的な代表の規準について」『香川大学教育学部研究報告』第I部77号, 1989年9月, 41~69頁。
7. 「議席再配分の理論的考察」『香川大学教育学部研究報告』第I部84号,

- 1992年1月, 1~34頁。
8. 「アメリカ合衆国における議席再配分をめぐる対立の諸パターン」『香川大学教育学部研究報告』第I部91号, 1994年3月, 1~20頁。
 9. 「寒川町のいきいき政治: 注目を集める新しい下水道政策」『香川大学一般教育研究』第45号, 1994年3月, 257~276頁。
 10. 「志度町の音楽によるまちづくり」『讃岐の人文・社会科学の発展に寄与する研究調査報告書』1994年3月, 136~147頁。
 11. 「牟礼町の住民参加のまちづくり」『香川県の自然環境と地域振興の現状と課題』1995年3月, 39~49頁。
 12. 「ユングとスウェーデンボルグ」『香川大学生涯教育研究センター研究報告』第7号, 2002年3月, 1~24頁。
 13. 「ジョニー・アップルシードの宗教」『香川大学経済論叢』第75巻, 2003年3月, 93~113頁。
 14. 「西インド諸島のスウェーデンボルグジャニズム」『香川大学経済論叢』第76巻第4号, 2004年3月, 1~32頁。
 15. 「ジョン・ビゲロー: アメリカ第一の市民」『香川大学経済論叢』第78巻第4号, 2006年3月, 19~43頁。
 16. 「アンドルー・カーネギー: 社会進化論者かスウェーデンボルグジャンか?」『香川大学経済論叢』第79巻第3号, 2006年12月, 49~66頁。
 17. 「サン普森・リード: エマソンとスウェーデンボルグの連結環」『香川大学経済論叢』第80巻第4号, 2007年3月, 11~40頁。
 18. 「観光まちづくりの心」香川大学経済学部ツーリズム研究会『新しい観光の諸相』美巧社, 2007年3月, 23~41頁。
 19. 「四国のスピリチュアル・ツーリズム」香川大学経済学部ツーリズム研究会『新しい観光の可能性』美巧社, 2008年3月, 33~55頁。
 20. 「観光と政治」香川大学経済学部ツーリズム研究会『観光学へのアプローチ』美巧社, 2009年3月, 135~169頁。
 21. 「お遍路の現代性」香川大学経済学部ツーリズム研究会『地域観光の文化と戦略』リーブル出版, 2010年3月, 85~109頁。
 22. 「四国遍路におけるメタファー思考について」『人体科学』Vol. 20 No. 1, 2011年5月, 79-86頁(査読あり)。
 23. 「古式小豆島遍路の風景」香川大学瀬戸内圏研究センター『瀬戸内海観光

と国際芸術祭』美巧社，2012年3月，149～197頁。

24. 「空海のたとえ話」香川大学経済学部『研究年報』51，2013年3月，1～23頁。
25. 「観光が日本の政治を変える」『都市問題』第104巻，2013年10月，24～28頁（依頼論文）。
26. 「観光に地方自治体はどのように向き合うべきか」『公共企業』第46巻，2014年（依頼論文）。
27. 「四国遍路の再生プロセス」『香川大学経済論叢』第87巻，2015年3月，27～50頁。
28. 「四国遍路による人格形成」『香川大学経済論叢』第91巻第2号，2018年9月，1～22頁。

C. 研究ノート

1. 「伊吹島の観光の可能性」（稲田道彦，金徳謙と共著）『香川大学経済論叢』第84巻第4号，2013年3月，317～336頁。
2. 「四国遍路体験記のリスト作成とタイトル分析」『香川大学経済論叢』第89巻第4号，2017年3月，189～202頁。

D. 翻訳

1. ダニエル・グッドノー「スウェーデンボルグの政治思想概説：神からの信託」『香川大学経済論叢』第68巻2-3号，1995年，単訳，757～778頁。
2. ジョージ・ドール『スウェーデンボルグ神学に学ぶ』日本スウェーデンボルグ協会，1998年，単訳，全293頁。
3. スティーブ・コーク『隠された千年王国』春秋社，2002年，共訳，v～xii，1～96頁を担当。

E. 学会・学術研究集会報告

1. 報告

- (1) 「お遍路におけるメタファー思考について」人体科学会，2010年12月，倫理研究所。
- (2) 「Meaning of the Shikoku Henro (Shikoku Pilgrimage): Why Do They Walk?」第4回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウム，2012年9

月，香川大学。

- (3) 「Tourism and Politics in Japan」第5回チェンマイ大学・香川大学合同シンポジウム，2014年9月，チェンマイ大学。
- (4) 「遍路体験記にみる四国遍路の実態」人体科学会，2017年10月，上智大学。

F. その他

学会開催

人体科学会第23回大会，大会テーマ「旅とスピリチュアリティ」，大会会長・シンポジウム司会，2013年11月30日～12月1日，香川大学。

2. 所属学会

日本政治学会

日本選挙学会

人体科学会 平成22年4月～現在 理事

II. 教育活動

1. 学部授業：政治学原論，政治学概論，政治文化論，日本の政治，アメリカ政治，アメリカ社会論，観光行政学，観光と政治，演習，個別演習，基礎ゼミ，プロゼミ
大学院授業：政治システム論特殊講義，アメリカ社会論特殊講義，個別演習
I・II

III. 管理運営面の活動

1. 学科長（2006・2007年），研究科運営委員（2008・2009年），学生生活委員長（2010年），学生生活委員（2011年），研究企画委員長（2012・2013年），副学部長（2013・2014年）

IV. 社会的活動

1. 高松大学非常勤講師 2006年9月～2013年3月
2. 四国経済連合会，第203回理事懇話会講師 2010年7月5日
3. 日本スウェーデンボルグ協会代表 2006年4月～現在
4. 『おへんろつかさ』養成講座講師 2011年～現在

5. さぬき市『空海セミナー』講師 2017年11月11日
6. 三木町サテライトセミナー講師 2018年11月21日
7. 放送大学香川学習センター客員教授 2015年4月～現在